

会 議 録

会 議 の 名 称	第2回 所沢市保健医療計画推進委員会
開 催 日 時	令和6年11月12日(火) 18時30分から20時30分
開 催 場 所	所沢市役所 8階 大会議室
出 席 者 の 氏 名	※別紙 「所沢市保健医療計画推進委員会委員名簿」 のとおり
欠 席 者 の 氏 名	
説明員の職・氏名	様式第2号発言者のとおり
議 題	<ul style="list-style-type: none"> (1) 令和6年度所沢市保健医療計画進行管理スケジュール(案)について (2) 第2次所沢市保健医療計画 令和5年度取組状況評価シート(案)(第3章～第5章)の確定について (3) 第2次所沢市保健医療計画 令和5年度取組状況評価シート(案)(第1章～第2章、第6章)の確定について (4) 所沢市保健・医療に関するアンケート調査の結果について (5) その他
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ 所沢市保健医療計画推進委員会委員名簿 ・ 所沢市保健医療計画推進委員会条例 ・ 所沢市保健医療計画推進委員会の公開及び会議録の取扱いについて ・ 資料1 令和6年度所沢市保健医療計画進行管理スケジュール ・ 資料2-1 【第3章～第5章】令和5年度取組状況評価シート ・ 資料2-2 【第3章～第5章】評価シート説明要旨 ・ 資料3-1 【第1章～第2章、第6章】令和5年度取組状況評価シート 別紙【第1章～第2章】新たな取組実績等について ・ 資料3-2 【第1章～第2章、第6章】評価シート説明要旨 ・ 資料4 保健・医療に関するアンケート調査の結果について ・ 参考資料 所沢市保健・医療に関するアンケート調査結果 ・ 資料5 意見シート

担 当 部 課 名	健康推進部	部 長	越智 三奈子
		次 長	小山 貴之
		保健センター長	中村 まさみ
		保健医療課長	河西 秀樹
		保健医療課副主幹	佐藤 征逸
		保健医療課主査	八川 麻紗子
		保健医療課主任	小貫 由依
		保健医療課主任	日野 航介
		健康管理課長	田中 浩文
		健康管理課主幹	小野寺 健
		健康づくり支援課主幹	近藤 真弓
		こども未来部	
		こども家庭センター長	松井 優子
		こども家庭センター主幹	美甘 有利恵
事務局 健康推進部保健医療課 電話：04（2998）9385			

※別紙 所沢市保健医療計画推進委員会 委員名簿

No.	所 属	氏 名	出欠	備 考
1	公募委員	二瓶 広和	○	
2	公募委員	碓谷 栄治	○	
3	公募委員	小野 向日葵	○	
4	公募委員	丸山 香	欠	
5	所沢市医師会 会長	赤津 拓彦	○	※委員長
6	所沢市歯科医師会 副会長	北田 徳克	○	
7	所沢市薬剤師会 副会長	塚本 京子	○	
8	所沢市柔道整復師会 副会長	吉田 南成	○	
9	所沢市鍼灸師会 会長	原澤 清一	○	
10	所沢市母子愛育会 会長	大里 節子	○	
11	所沢市食生活改善推進員協議会 会長	丸山 静香	○	
12	所沢市スポーツ推進委員会 副会長	須藤 貢	○	
13	所沢市社会福祉協議会 事務局長	黛 浩一郎	○	
14	所沢市介護保険サービス事業者 連絡協議会 会長	米川 智裕	○	
15	早稲田大学 教授	扇原 淳	○	※副委員長
16	知識経験者	瀬能 幸則	○	
17	狭山保健所 副所長	田島 貴子	○	
18	埼玉西部消防局 所沢中央消防署長	後藤 依左明	欠	
19	市民医療センター長	黒木 康富	欠	

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局（河西）	（開会）
赤津委員長	（挨拶）
事務局	（前回欠席委員の紹介）
委員	（前回欠席委員の挨拶）
事務局（河西）	<p>続きまして、本日の委員会ですが、都合により3名の委員が欠席です。出席者が16名となり過半数を超えておりますので、条例により委員会が成立していることをご報告申し上げます。</p> <p>前回と同様、委員会は公開とさせていただきます。また、「会議録は要約方式」、「発言者は委員名を記載」、会議録は「委員長の承認を持って確定」とさせていただきます。</p> <p>次に、配付資料の確認をさせていただきます。</p> <p>（配付資料の確認）</p> <p>本日の流れにつきましては、次第に記載の通りです。 それではここからの会議進行は赤津委員長にお願いいたします。</p>
赤津委員長	本日の傍聴者に関するはいかがでしょうか。
事務局（八川）	傍聴者はおりません。
赤津委員長	それでは、議題（1）令和6年度所沢市保健医療計画進行管理スケジュール（案）について、事務局から説明をお願いします。
事務局（佐藤）	（資料1 令和6年度所沢市保健医療計画進行管理スケジュール（案）について説明）
赤津委員長	ありがとうございました。
	次は議題（2）第2次所沢市保健医療計画 令和5年度取組状況評価

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局（小貫）	<p>シート案（第3章～第5章）の確定についてですが、今回は前回いただいた意見を元にして修正したものを確定する趣旨のものであります。そのため、大きな変更はないはずですが、やはり目に付くところがあれば、どうぞご議論ください。では事務局から説明をお願いします。</p>
赤津委員長	<p>（資料2-1 第2次所沢市保健医療計画 令和5年度取組状況評価シート案（第3章～第5章）、資料2-2（第3章～第5章）令和5年度取組状況評価シート 説明要旨について説明）</p>
委員一同	<p>第3章から第5章について、委員の皆様からご質問等ありますか。</p>
委員一同	<p>（意見なし）</p>
赤津委員長	<p>それでは特に質問はないということですので、これをもって確定となるかと思えます。また会議終了後に思い出したことなどがあれば、どうぞ事務局にご意見をいただければと思います。では議題（2）はこれで終わります。</p>
事務局（小貫）	<p>次に議題（3）第2次所沢市保健医療計画 令和5年度取組状況評価シート（案）（第1章～第2章、第6章）の確認について説明をお願いします</p>
事務局（小貫）	<p>（資料3-1 第2次所沢市保健医療計画 令和5年度取組状況評価シート案（第1章～第2章、第6章）、資料3-1別紙（第1章～第2章）第2次所沢市保健医療計画 令和5年度からの新たな取組実績等について、資料3-2（第1章～第2章、第6章）令和5年度取組状況評価シート 説明要旨について説明）</p>
赤津委員長	<p>広範な説明で、フォローするのが大変ではないかと思えます。基本的には例年の取組にプラスアルファが加わったということと、それに対する達成度の評価は、激変しているものではなくて、若干変化がありましたというところになるかと思えます。当然のことながら、事業は市民の皆様のためになるような取組を実施していただいているということでありがたいお話だと思います。この章についてご意見があれば承ります。</p>
委員一同	<p>（意見なし）</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
赤津委員長	<p>内容が広範ですので、よろしければ改めてお読みいただいて、ご意見等あれば後日提出でも結構です。</p> <p>実際のところ私が気になるのは、自分が行政をやっていた時に強く言われていたのはスクラップ&ビルド。大昔から言われていることですが、所沢も子どもたちに優しくしようということがまちの方針になりましたので、今おやりになっているような事業の継続がどこまで可能なのかというところが心配であり、楽しみでもあると思います。</p> <p>私がしつこく住民参加、自らがやるべきだと言っているのは、そうしないと何でもやってもらえるという精神だけがどんどん増長して、要は共生社会が崩壊するだけです。それを選ぶのも住民であり、どうぞ勝手に選んでくださいという立場なのですが、そうなってほしくないという思いは、多分皆さんも共有なさっていると思います。どうぞご意見をいただいて、少しでも市民が参加できる、あるいは市民の皆様、自分もやらなければいけない、という気持ちになっていただくような施策を実施していただけたらと思います。では質問がないようですので、次に移ります。</p>
赤津委員長	<p>次に、議題（４）所沢市保健・医療に関するアンケート調査の結果について説明をお願いします。</p>
事務局（日野）	<p>（資料４ 所沢市保健・医療に関する市民アンケート調査結果等について、参考資料 所沢市保健・医療に関する市民アンケート調査結果について説明）</p>
赤津委員長	<p>ありがとうございました。アンケートは非常に多くの設問で構成されており、途中で力尽きてしまいそうですが、様々な情報がこれで把握できたのではないかと思います。</p> <p>成人、あるいは小学生や中高生、みんな考えが当然異なってしかるべきであるし、実際に異なっているというふうなところ、委員の方々からご意見をいただければと思います。</p> <p>私が感じたことは、例えば医療機関を整備して欲しい、待ち時間を少なくして欲しい等、何かして欲しいということで、人間の欲望は無限であるというところに尽きます。便利さを追求すれば、それはやってもらえた方がいいということなので。</p> <p>そのためには人・物・金が永久に尽きないという前提があるかもしれませんが、それがもう日本では到底無理なのが現状です。</p> <p>例えば、看護師さんのなり手について。埼玉県内に看護大学や看護専</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
扇原副委員長	<p>門学校がありますが、医師会が運営している看護専門学校はいつも入学生が少なく、私が学校長を務めていた時はどうしようと毎日胸が締め付けられるような思いでした。</p> <p>令和3年度から令和6年度にかけての看護大学の受験者数の推移を見ると、たった4年で6割に減っています。おそらく他の職種のものもすごく速い推移で受験者数が減っているのではないかと思います。</p> <p>介護職の成り手と同じように、おそらく看護業界も一気に減少するのではないかと考えると、医療機関数を充実させて欲しいと思っても、働く人がいないという現実をすぐに突き付けられるようになると思います。</p> <p>こうした世の中でやっていかなければならないという情報こそみんなに共有しないと、何でもやってくれという非現実的な発想ばかりがまかり通ってしまうことが懸念されます。</p> <p>選挙で掲げると投票するということになりますので、現実はそうではないということを市民の皆様と共有し、議論できるような計画が本来は必要ではないかと思います。</p> <p>若い世代が大変な思いになることは、このアンケート調査結果をそのまま受け止めて良いか等も含め、考えないといけないのではないかと思います。</p> <p>例えばスマホをたくさん使っていることが悪いことなのか。東北大学の脳科学を専門としている方々のデータを見ると、スマホの使用時間が長い人は前頭葉の発達が遅れると書いてあります。</p> <p>その一方で前頭葉の発達が遅れても、機械が全部対応してくれる社会になれば問題ないのでは、という受け止め方も考えられます。</p> <p>例えば若い人たちが大きくなった時には、50歳ぐらいで認知症になったとしても、それで生きていけるならそれが近未来の出来事である。それを駄目と言う権利は私たちにないですよ。</p> <p>若い人たちは若い人たちの世界がある。この辺をどうやってバランスをとっていくのかは難しいですね。</p> <p>アンケート調査の中で、資料4の「アンケート調査等から見る課題」について、例えば医療への上手なかかり方を習得できるような取り組みが必要だという時に、医療への上手なかかり方は市民と行政の立場でそれぞれ考えが全く異なると思いますので、具体的にはどういうものか、しっかり書く必要があるのだろうと思いました。</p> <p>また、健康づくりや医療に関する情報について分かりやすく発信して</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>欲しいということについて、例えば病院がどこにあるかわかった方がいいという回答がありました。G o o g l eで検索すれば必要な情報が出てきますので、これはスマホの使い方を教えることで対応ができるでしょうし、そのためにチラシを作る必要もないと思います。</p> <p>医療機関の情報を一覧でまとめる場合、情報の更新が一番大事になるのに、行政では1年に1回しか更新しないことが多く、それでは全く意味がありません。情報の更新は既にインフラが整っているため、既存のサービスに任せることも重要だと思いました。</p> <p>あとは自由記述が凄くいいなと思いました。これだけのものならばそれぞれ自由意見に対する回答ができるのではと思います。</p> <p>例えば「歯医者が増えたい。予約が取れないので、利用者が分散することを望む」といった意見がありますが、市内に歯医者はこのくらいあるというのは回答できると思います。</p> <p>他にも、例えば中高生は「特にない」とありますが、特になくても、「これから病気になることがあったら、いつでも相談してくださいね」等、しゃれが効いたようなことも返せると思いますし、「部活でけがが多い、高校生の医療費は無料にして欲しい」等、市が既に対応していても、市民が知らなかったことも書かれています。</p> <p>せっかくアンケートを取ったけどいつ返事があるのかと、回答者側は待っていると思いますし、意見がいつ反映されるのかも気になると思います。</p> <p>貰った回答に対して早めがいいタイミングでどんどん返していく等、もう少しアンケート調査を通じて市民との対話が上手にできる仕組みであれば、また回答したいと思ってもらえるのではないかと思います。</p>
大里委員	資料4に書いてあるデジタルデバイドの解消とはどういうものなのでしょうか。
扇原副委員長	スマホを持っていない人にも丁寧に対応しましょうということです。
赤津委員長	早稲田大学の学生が、それこそスマホを持っていない人にスマホの使い方を教えたりなさっているんですね。
扇原副委員長	サポートする学生もボランティアでいます。必要な時はお声がけいただければと思います。

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
丸山委員（所沢市食生活改善推進員協議会）	<p>資料がとても見やすいです。皆さんのご苦勞がすごくよく分かります。デジタルが苦手・不得意な私でも見やすく、とてもいい資料だと思います。</p> <p>ただ、これはあくまでもアンケートで、この先どうなるのかなというのは、今後に期待したいと思います。回答をぜひ記載していただければと思います。</p>
赤津委員長	<p>デジタルなしでも、要は全世代にわたって分かりやすいということですね。私も半分デジタルみたいなもので、パソコン等を使っても、紙媒体で印刷したいと考えます。しかしながら、若者たちは、印刷はしないとなっているようで、世代間で考えが違うなと感じています。</p> <p>しかしながら、情報にきちんと対応できることが優しい社会であり、行政の仕事だと思いますので、よろしく願いいたします。</p>
須藤委員	<p>スポーツ推進委員会では、11月4日に航空公園から東所沢の公園までのウォーキングイベントを開催しました。ここでアンケート回答にも居心地の良いコースというものがありますが、我々もコースを下見しながら、どのように歩いたらいいか、高齢者、小さいお子さんまでどこを歩いたらいいか色々検討しながら準備しています。</p> <p>今回、8kmのコースを皆さん完歩することができました。しかしながら、最高齢の80歳の方や最年少の3歳の子にとっては距離が長いのではという意見がありました。</p> <p>その場でアンケートを取りまして、こういった形でやっていけばということで、我々も検討しながら運営させていただいているのですが、このイベントを知ったきっかけが一番多かったのが市のほっとメールでしたので、そういったものも巧みに使いながら、皆さんに知っていただければと思います。</p> <p>あとは市の健幸マイレージについて、我々もどこでポイントがもらえるのか等を聞かれましたので、今後情報発信していければと感じた次第です。</p>
赤津委員長	<p>市民発の事業というのは、まさに音頭を取ってくれる人がどのぐらいやる気があるかというか、自分の人生を懸けるとまでは言いませんが、時間や労力を費やして実施している尊いものだと思います。</p> <p>私は患者さんに、1日8,000歩くようと言っている手前、1万歩歩いているのですが、最近思ったのが、所沢の商業施設ができた時に交差点に座れるベンチがあったことに驚きました。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
<p> 党委員 </p>	<p> 自分が年を取ってきて歩いた時に、座りたいなと思った時に座れる場所がある。そういう営みをちゃんと市が考えてやってくれていることに驚きました。 </p> <p> 行政の事務方も細かくやっておられて、計画自体も緻密にやっているなという感想です。私自身が健康オタクで食事・運動にすごく気を遣っており、この委員会自体に凄く興味があるのでそういうふうに見えるのかもしれませんが、委員の皆さんもしっかりと関わっている委員会だと思います。 </p> <p> 計画ばかり立てて、実際には何もやっていないみたいなことを言われることもありますが、市民自らが取り組んでいただく必要があります。 </p> <p> その点で考えると、行政計画では、例えば目標指標について、様々な計画の中で「推進します」、「図ります」といった表現になりますが、やってもらうという観点だとそうになってしまうのかと思います。 </p> <p> 行政的には難しいかもしれませんが、社会福祉協議会では、住民と一緒にやっていただくという観点では、「推進します」ではなく、「一緒にやりましょう」という表現としています。 </p> <p> 「みんなで一緒にやりましょう」という計画の立て方こそが計画の実行につながるのかなと感じました。 </p>
<p> 赤津委員長 </p>	<p> 少しでもいいからそういう言葉が入るといいですね。まさに自己責任となり、最終的にみんなが関わらなくなると、弱肉強食の時代が待っている。そうならないようにするためにも、みんなで頑張りましょうというふうにこれからも一生懸命やっていきましょう。 </p>
<p> 米川委員 </p>	<p> 私からは二つあります。 </p> <p> （介護福祉士について） </p> <p> 介護福祉士の養成講座の入学者の数と、養成校自体が減っています。2014年に1万人くらいいた養成校の入学者が、2022年度には6,800人まで減っており、うち約2,000人は外国人であり、日本人は半分になっています。足りないところを外国人が埋めている形となる程、介護人材が減っています。 </p> <p> （保健医療計画第6章第1節 保健・医療・介護福祉の連携について） </p> <p> 保健医療計画に関連するとしたら、第6章の第1節、保健・医療・介護福祉の連携、今後の方向性（1）医療・介護関係者間での情報を随従 </p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	<p>共有する、というあたりですが、保健センターから「一緒に学ぼう、失語症」という資料や、保健医療課から「所沢市がん患者アピアランス用品購入費助成」「所沢市若年成人世代がん患者在宅ターミナルケア支援」のご案内をいただきました。</p> <p>結論から言うと、このような情報は、介護関係者にとっても有益ですので、ぜひいただければと思います。介護事業所が所沢市内に約600くらいありますので、手続きとしては、各部署から同じ庁内の介護保険課を通していただければ、そこから600ぐらいの事業所に情報共有ができます。</p> <p>中には失語症や難病、精神疾患などの勉強をしたいという志の高いケアマネージャーや地域包括支援センターの方もいますし、福祉関係者としては医療に関する情報が足りないので、こうした専門的なことを学ぶことでスキルアップにもつながるので、このようなものがあれば、どんどん共有いただければと思います。</p>
赤津委員長	<p>どこを通じてその文書が届いたのですか。</p>
米川委員	<p>所沢市の介護保険課を通して依頼文書を出していただければ、介護保険課から、介護保険サービス事業者連絡協議会に届き、会長や役員会の承認を経て共有されます。</p> <p>医師会からも色々な情報をいただいています。医療介護連携支援センターからもいただいていますので、基本的にはいただいた情報は市内600の事業所に共有しています。介護保険課には手間になりますが、やはり利用者のため、市民のためには良い情報だと思いますので、ぜひいただければと思います。</p>
赤津委員長	<p>ありがとうございます。実は医師会が市の委託で受けている医療介護連携支援センターというのがございます。そこで医師会として医療・介護・福祉の連携を考える時には、そういう職種の方々が一緒に勉強する機会が重要だろうということで、製薬会社の勉強会の時には、依頼があった場合には、必ずメディカルスタッフを対象にした内容を入れてくれば、医師会から共有する形としています。医師会の勉強会については、参加者は多くても40とか50人くらいなのですが、勉強なさる人はなさっているのだろうと思っています。ぜひ情報は共有なさった方がいいと思います。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
瀬能委員	<p>30ページ以上にわたり、多くの自由意見が書かれていました。これを一通り読んだ中で、全てに答えられるわけではないと思いますが、計画を作ることをきっかけとして出した様々な意見に対して、市がどういう対応をするのか、市民が一番関心があるのだと思います。</p> <p>様々なことで計画の中に盛り込むべきかどうかもありますが、せっかく出していただいた意見に対しては、やはり答えるのが行政としては大事だと思います。</p> <p>どんなアンケートを取っても出てくるのですが、交通機関について、移動する時に不便だという話が出てきたり、あるいは道路の歩きづらさについて意見がありましたが、インフラの整備という部分については、保健医療計画の中に盛り込むわけにはいきませんので、あくまでも市に対して届いたアンケートだという考え方を元に、庁内でも情報共有し、役立ててもらえればいいのかと思いました。</p>
田島委員	<p>健康づくりは日頃の生活の過ごし方が基本になるのかなと。お子さんたちの答えもありましたが、家庭の中でどのような話ができているかということもあるのですが、学校教育とか、教育の場面で健康づくりというのがもう少し取り組まれるといいのかなというのが私の感想です。</p> <p>やはり家庭の力が弱くなってきているという現状もありますし、基本的な生活習慣が健康づくりには大事だという実感がありますし、学校で学んだことを子どもさんから家庭に入ること、啓発の中でも親が気付く、一緒にできるのではないかと考えています。</p> <p>また、健康づくりの中で、受動喫煙というのが出てきていますが、保健所も受動喫煙の通報の場所となっていますので、以前から路上喫煙に関する通報がありますが、最近は隣の部屋から来るとの通報が増えています。喫煙は法律で縛れるものではなく、基本的なマナーのところまで考えると、基本的な生活習慣の中で他人に害を及ぼさないという意識というのは、やはり小さい頃からの教育や生活の仕方というのも重要なのではないかと考えています。</p> <p>また、必要な人に必要な情報をどのように届けるかということで、保健所としても、性感染症について必要な方に情報を届けたいと考えております。特に若い方の感染がかなり増えており、ニュースにもなっていますが、梅毒がかなり増えています。予防ができるものはぜひ予防して欲しいですし、その後出産や不妊にも影響がありますので、必要な方に情報がきちんと届いていないのだろうなと感じています。関心のある出来事も知れませんが、若者のところに必要な情報が届くにはどうしたらいいか、というのが今感染症の中で、特に性感染症が保健所として</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
赤津委員長	<p>は課題になっています。</p> <p>コロナに関しても、一時期皆さんすごく手洗いやマスクの着用といった感染防止対策をしていただいたので、だいぶ良くなったのですが、これからインフルエンザが流行してきますので、外出から帰ってきたら手洗いやうがい、食事の前に手を洗う、咳が出たらマスクを着用する等、本当に基本的な生活習慣を徹底することで、自分も感染しないし、周りに感染しない、というのを実感しています。</p> <p>また、心の健康についても、若者に情報がきちんと届いていないのだろうなと感じています。様々なSNS等で特にオーバードーズに憧れたりする若者がいることを何とも思っていないとか、トレンドみたいに思われているところがあって、オーバードーズによる心身への影響について、正確な情報が伝わっていないのだろうなと。</p> <p>どうしたら必要な情報が届くのだろうかというところに戻りますが、そのあたりをもう少し他の皆さんと一緒に考えながら、届けたいと思っています。</p> <p>なので、今回アンケートを実施していただいて、様々な意見が出てきて、何となくそうだなと思ったところが声として出てきていることがあるので、それに対してどのような対応ができるのかなと考えています。</p> <p>ありがとうございます。やはり家庭がなかなか昔ながらの3世代家族でなくなってしまっている分、生きていくことで精一杯で、子どもさんに十分な愛情を注げないでいる家庭もあるのではないかと思います。</p> <p>やはり家庭の教育がとても大切だということですね。それができないというか、公教育が家庭教育の代わりにやれと言われても、なかなか難しいものがあるというのが現状なのでしょう。とても歯がゆいところですが、みんなで作っていきましょう。</p> <p>人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）の勉強会では、実は皆さんにお節介さんになって、声掛けをしてあげてくださいと言ったことがあります。そうしたら何年か経った後に、私はあの時からお節介さんになっていますという人が1人だけいたんです。それを聞いたらとてもうれしくなりました。やはり人と関わるというところを一生懸命やってほしいと思いました。</p> <p>性感染症の件は、性教育に熱心に取り組んでいる埼玉医大の高橋幸子先生がいますね。所沢でも11月に所沢市男女共同参画推進センターふらっとでユースクリニックというイベントが開催されました。「性に関する相談、情報提供」、「避妊具等の展示」や「マイコンドームケースづくり」などをなさったと聞いています。所沢市医師会でも大切な活動</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
原澤委員	<p>なので、後援させて頂き会員へ情報共有を致しました。</p> <p>私はアンケートの方で、コロナ禍との比較の部分で思っていた結果とだいぶ違ったのでちょっと驚いています。コロナの間に技術もすごく進化したり、生活様式の変化もあるので、コロナだけが影響しているのか検証が必要だと思います。</p> <p>例えば、運動量については、コロナの時に外出自粛がありました、今はそれがなくなったにも関わらず減っているのはなぜなのかも気になります。</p> <p>また、イライラやゆううつな気分も、外に出て人と会うことが増えたことがストレスになっている場合もあるのではないかとありますので、そのあたりはもう一度精査していただければいいかなと思います。</p> <p>その他、昨年度まで市民医療センターについてこの委員会でも話題となっていました、進捗状況を教えてほしいです。</p>
赤津委員長	<p>私が知っている範囲だと事業計画は粛々と進んでいて、建て替えを前提とした計画となっており、設計にも入っているという状態です。医療センター運営委員会の審議の中では、医療センターに担っていただきたい事項の一つに、やはり新興感染症や大災害時の医療が担えるようお願いしたいという文言を入れてあります。</p>
事務局（河西）	<p>おっしゃるとおり、昨年度まで説明させていただいており、その後の進捗状況報告が漏れており誠に申し訳ございませんでした。</p> <p>昨年度、本委員会でもご意見をいただき、基本計画としてまとまりまして、それに基づいて再整備が進められているところです。</p> <p>新病院の整備スケジュールとして、令和6年度に基本設計をさせていただいて、令和7年度に実施設計ということで、具体的にどういうものを作るかの設計をします。</p> <p>令和8年度、9年度に掛けて建設工事を行い、令和10年半ばには新病院の開院ということで、今手続きを進めています。</p>
赤津委員長	<p>昨日、一昨日から医療センターが停電になっております。その復旧をするために黒木センター長は大変なご努力をなさっています。もう停電は回復しましたが、病院の機能として停電になるとすべて失われますので、大変だったのではないかと思います。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
吉田委員	<p>今年度から参加させてもらい、話には聞いていたのですが、これだけたくさんの資料があっぴくりしています。たくさんの資料の中で、特に関心を引いたのが、年代別の悩みやストレスの実感と、心の悩みの相談先のところですよ。</p> <p>70代の方はストレスを感じないというのが多いのですが、心の悩みの相談先は70代の方がいない回答した方が多いんですね。また、ストレスの解消法では70代は運動が一番多いとのことで、話す相手がいなくても、体を動かしてストレスを解消しているのかなと思ながらこの資料を見ると、いろいろ日頃思っていた疑問が、こういう形なんだと思って聞いていました。</p> <p>私のところにみえる方も、高齢者は圧倒的に男性が地域の集まりとか人と接する機会は、奥さんが出かける時についていくような印象で、奥さんが行かない時は家でテレビやゲームなどで時間を潰すようなお年寄りが最近多いです。それでストレスを感じず、発散しているのかなと思うと、この資料を見ると私が疑問に思っていたことが少し解消でき、仕事場でも説明ができると思ひ、とても参考になりました。</p>
塚本委員	<p>薬剤師として一言皆さんにお話をしたいと思ひます。限られた啓蒙活動になるとは思ひますが、今非常に中高生のオーバードーズが問題になっています。</p> <p>私も学校薬剤師なので、小学校や中学校、高校にも啓蒙活動で講演に行かせていただひていますが、生徒にオーバードーズの話をして、分かっていてもやはりどうしても何かのきっかけで手を出してしまうということで、どんどん増えているというのが現状です。</p> <p>それに対して、我々薬業界からもドラッグストアや薬局にオーバードーズの疑ひがある生徒が来た時には、お互いに注意しましようということをおし入れていますが、お話をすると、やっぱり心の寂しさ等、様々な背景があっぴ、オーバードーズに手を出してしまうことが念頭にあります。</p> <p>ですので、周りでオーバードーズのことをもう少し知っていただきたい。テレビでも報道されておひますが、何かまだ他人事なのかなと感じています。</p> <p>薬というのは当然治療をするためのものですが、使い方によってはかえって健康に悪影響を及ぼしてしまうので、改めて薬に対する認識を持っていただきたいと思ひています。</p> <p>啓蒙活動の必要があると書いてありますが、もちろん我々が薬に関する人間観察にも関わっていかないとはいけないことは重々承知していま</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
赤津委員長	<p>すが、やはり市民にも周知しなければならぬと思っています。</p> <p>ありがとうございます。誰がオーバードーズをやっているのかなんて全く考えたこともなかったので、今度もしそういうのを見つける機会があれば、お伝えしたいと思います。</p>
小野委員	<p>いただいた資料を見て初めて知る取り組みが結構ありました。なので、とても素敵な取り組みをしていることが分かったので、私のように知らない人に対しても伝わるような情報発信に力を入れていくべきだと思いました。そうしたら、してほしいという要望に対しても、解決できるようなものがその取り組みの中にあるのではないかと思います。</p>
赤津委員長	<p>ありがとうございます。素敵な取り組みだそうです。良かったですね。胸を張ってしっかりとやっていただければ。その説明義務を我々は果たしていかないといけないというふうなことかと思えます。一緒に市民の税金を使って取り組んでいるので、市民のために、この地域のために一緒にやっていきましょうというのが市の考えではないかと思います。</p>
碓谷委員	<p>アンケート、5,000部配布して回収率が36.4%ということで、前回よりもだいぶ下がっているということで。先ほど事務局の方が項目の精査についておっしゃっていましたが、Webを使った時によくあるのが、あと何%で終わりですよみたいな、ゴールが見えるようなものにすれば、多分やりやすいのではないかなと。</p> <p>あとは資料4の17ページ、男性の30代から60代が朝食をほぼ食べないというのが正直愕然としております。私は必ずしっかり食べるのですが、例えばこころの健康との関連でも食生活が大事ということは、発信できるのではないかなと思います。</p> <p>併せて心のケア、中高生の42ページ、自由意見のところですが、これは教育の分野に関わる話かもしれませんが、いわゆる助けを求める場所ではなく、スマホで助けてと言える場所を作ってほしいという声があります。こういう声は例えば自殺の報道等でも出てくるとは思いますが、助けてと言える場所があるということもお知らせできると思います。</p> <p>人とのつながりがないと、心の健康を保つことが難しい場合もあると思いますし、将来、中高生たちが社会に出た時に、自分だけでは生きていけないというところも捉えないといけないのだろうなということも発信していただければと思います。</p> <p>最後に、最初に説明を受けた資料2-2の2ページのところに、委員</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
赤津委員長	<p>の方の意見で「気軽に食事ができる場所があると良いと思う」とあります。これは子ども食堂の話かと思いますが、そもそも食事が取れているのかというのがすごく気になるところです。</p> <p>今なかなか厳しい物価高もあって、親の給料だけでは暮らせない人たちも出てきているのかなと思いますので。</p> <p>ありがとうございます。子ども食堂は大切な取り組みだと思います。実は何を食べているのかを聞くと、最近はカップラーメンばかりと答える患者さんがいます。お金がなくてご飯が食べられない人が患者さんの中でも増えているなと感じています。こどもでも、給食の時しかお腹いっぱい食べられない、なんてとても辛い立場の人がいるはずですが、そういう人がどこにいるのだろうかというところまで捉えられていないのが実態です。できたら取り組んでいきたい分野です。</p>
二瓶委員	<p>アンケートを見させていただいて、「歩くところがない、車が怖い」という意見を見ましたが、所沢市でトコトコ健幸マイレージ事業やウォーキングイベントをいろいろ取り組んでいるので、こういったことをもうちょっと周知できるような仕組みが作れたらいいのではと思います。</p>
赤津委員長	<p>歩くイベントというのは、健幸マイレージだけではなく、ウォーキングコースを所沢市は作っているんですね。2~3か所作っていて、そこで健康ウォーキングを実施しています。しかしながら、最近下火なのか、あまり宣伝がされていないのかもしれませんが。</p> <p>クアオルトウォーキングをやっていますが、特別にコースを作るのにお金がかかるというので、自由にできません。</p>
事務局（近藤）	<p>ウォーキングのコースですが、市内で今東川沿いですとか、いくつかのウォーキングコースがありまして、インターネットでも掲載しています。市内各所でいろいろなところで歩けるコースがありまして、マップができております。</p>
赤津委員長	<p>そこで行政は止まっているんですね。コースを使って、例えば途中でお茶を飲みながら回るイベント、というところまでの企画は残念ながら実施していないと思います。</p> <p>クアオルトウォーキングに関していうと、例えばドイツはお金を払わなくても1泊2日健康教育を受けて帰ってきたり、歩いたりという制度設計があります。本当は日本もそれをやればいいのにはと思いますが。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局（中村）	<p>クアオルトウォーキング等のウォーキングイベントで健幸マイレージも連携し、ポイントが加算されるような取り組みもしています。</p> <p>マイレージには、1日8,000歩を目標の一つとして参加していただいているのですが、なかなか達成が難しいようで、引き続きPRには努めたいと思っています。</p> <p>また、ウォーキングのコースについてですが、東川沿いのコース等に、道標を立てております。道標には次のところまでの距離ですとか、こういった歩き方をするといいというワンポイントアドバイスなども掲載して、市が設置しています。これからPRに努めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
赤津委員長	<p>良いことですよね。一生懸命歩くというか、自分の足で歩くので。患者様にも使わない機能は衰えるだけだと伝えてあります。</p> <p>ずっと歩きたいなら、使い続けること。これは毎回念仏のように繰り返して言っているのですが、皆様もぜひ一緒に体を動かすことを続けていただければと思います。</p> <p>二瓶委員がおっしゃるように、歩くという部分をもう少し市民が身近に感じられるようにしていければと思います。</p> <p>次に、議題（6）その他ですが、事務局から何か連絡事項があれば説明をお願いします。</p>
事務局（佐藤）	<p>（今年度開始した2つの新規事業について説明）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所沢市がん患者アピアランスケア用品購入費助成 ・若年成人世代がん患者在宅ターミナルケア支援 <p>（事務連絡）</p>
赤津委員長	<p>ありがとうございました。それでは閉会にあたり、扇原副委員長よりお言葉をいただきたいと思っております。</p>
扇原副委員長	<p>（挨拶）</p>
事務局（河西）	<p>慎重なご審議ありがとうございました。皆様からいただいたご意見については、今後の取り組みや計画策定にしっかりと生かしていきます。以上をもちまして、令和6年度第2回所沢市保健医療計画推進委員会を閉会します。ありがとうございました。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
	(閉会)